

ATAMACADEMY
基礎課題

かみ
髪

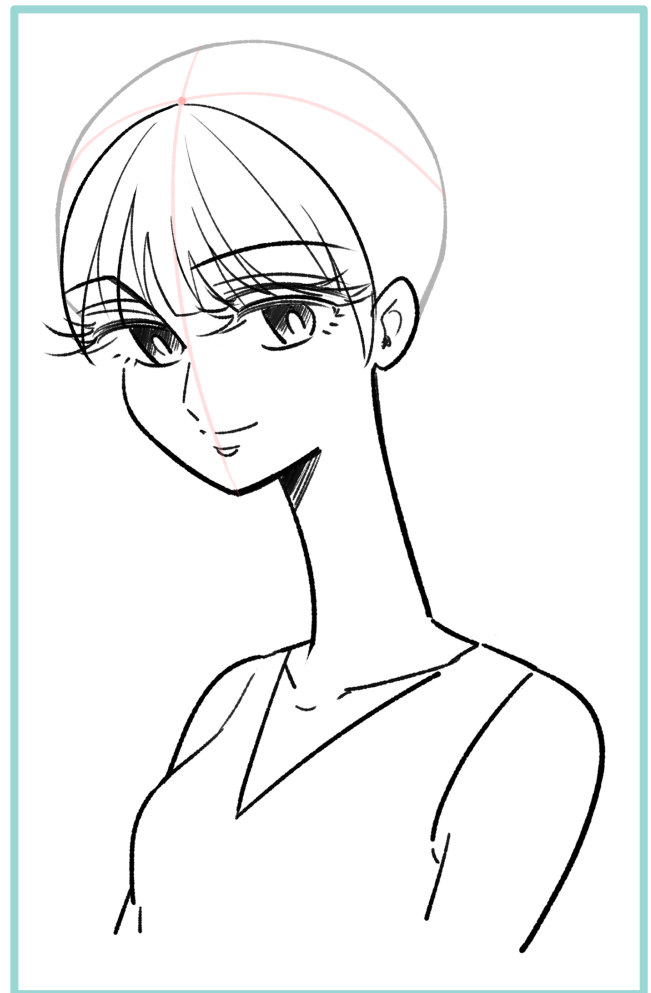
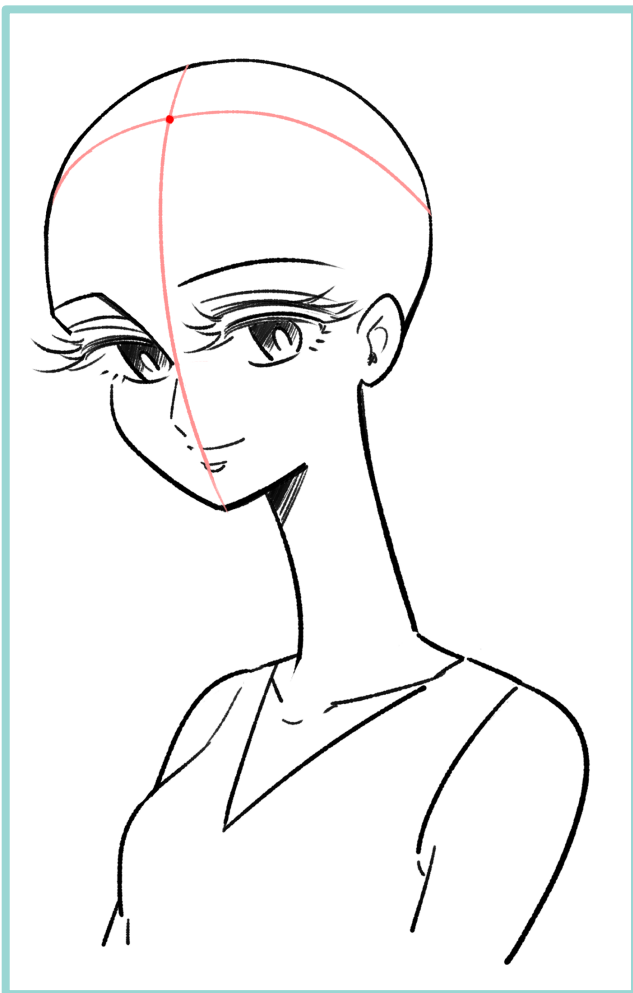


髪（かみ）

■ つむじの位置

髪の毛はおおきく「前髪」「横髪」「後ろ髪」の三つに分けて描くことで、立体的に見せることができます。

この三つは全てつむじからスタートして描くことでより自然に描けます。まずはつむじの位置をはあくしよう。



つむじは頭部のほぼ中心と考えます。

① つむじの位置を決める

② 前髪をつむじから生やす。

つむじは一点のポイントなので、そこから下に向かって広がるように描きます。扇型をイメージすると描きやすいです。

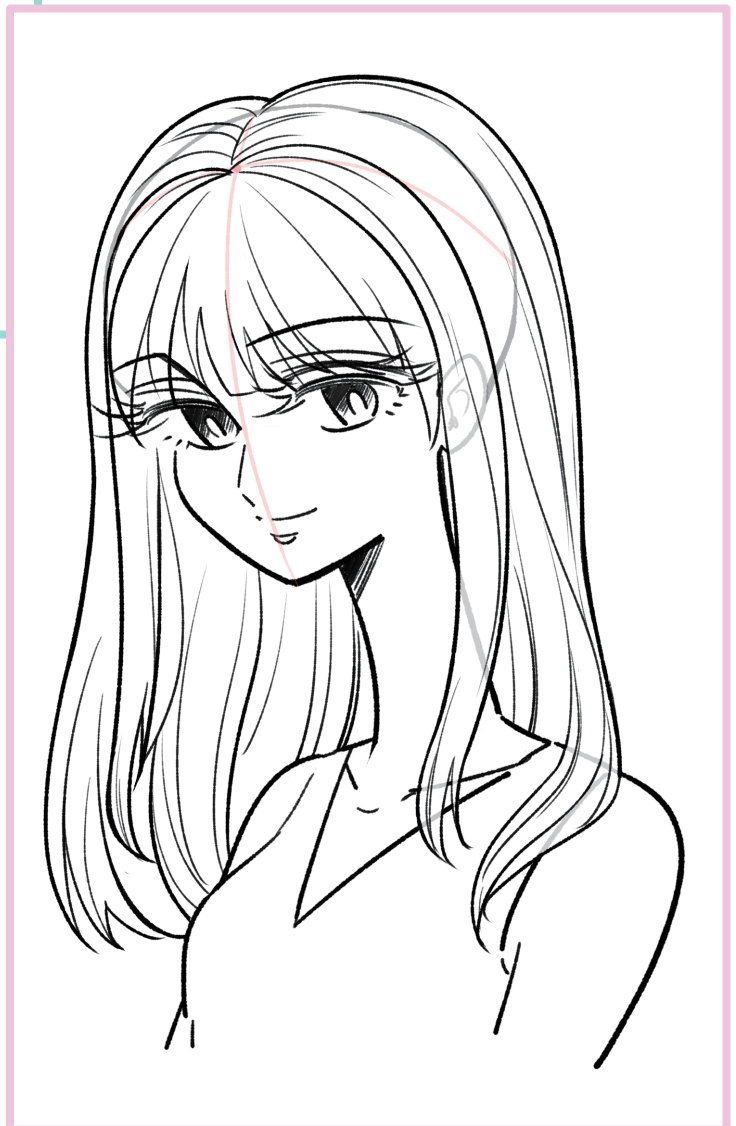
髪（かみ）



③横髪を描きます。

横髪は「もみあげ」とも言います。

おもに耳の周りにかかる髪のことです。頭の形に沿って丸みを持たせましょう。



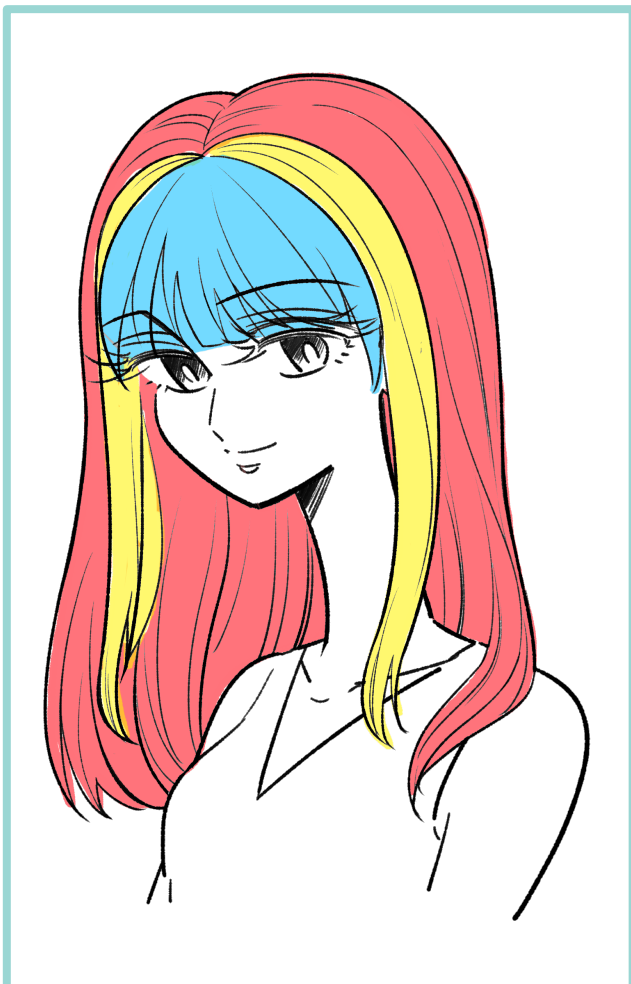
④残りに後ろ髪を描き足します。後ろ髪は見えている部分を描き足すイメージです。実際は髪の毛の大半をしめる部分なのでボリュームがあるようにふくらみを持たせて描くのがおすすめです。頭の丸みを意識します。

髪（かみ）

ポイントは“頭の丸みをつねに意識すること”そして、“顔の向きや角度に合わせて髪の毛もかたむかせること”です。髪の毛は基本的に軽いものなので、**頭がかたむけば一緒に流れるように動きます**。特にロングヘアを描くときは肩にかかる部分にも気をつけるとより自然な髪の毛が描けるのでおすすめです。



パーツごとに色分け



前髪・横髪・後ろ髪がわかりづらい時は、自分の絵に色つけて考えてみよう。
髪型が決まったら、パーツごとに分けて考えられると描きやすくなるよ。

髪（かみ）

■髪型ごとの描き方を知る

髪の毛は髪型ごとにボリュームや形がことなってきます。男性のショートヘアと女性のショートヘアを比べてみましょう。



ツンツンとした毛先を意識して描く



やわらかく猫毛のようなイメージで描く

ショートヘアの場合、髪が短いので**前髪はつむじ**を意識しつつも、おうぎ型に描くのではなく**おでこをおおうようなイメージで描く**とより自然になります。また、ロングヘアとは違**いつむじ部分にもツンツンとしたはねた毛**を描くと、髪の毛がきちんと頭皮から生えて見えます。

髪（かみ）

くるくるに巻かれているタイプとほんのり巻かれているタイプなどウェーブヘアにもさまざまあります。キャラクターの性格や時代設定に合わせて描き分けるとよりキャラクターにも個性が出せます。

ゆるやかなウェーブヘア



巻き髪



ウェーブヘアは、**大きな毛束がそれぞれウェーブしている**ことを意識し、その隙間に細い髪があるように描いてあげるとボリューム感を出すことができます。

髪（かみ）

はねた毛は外側に向かってくるんとはね上がっているのが特ちょうです。ウェーブヘアのようにうねっているのではなく、毛先だけが上向きにカーブします。またはねた毛はくせ毛であることも多いので、毛先以外でも飛び出すような、はねた毛を描き足したりもアイデアです。

まとまってる跳ねっ毛



少しボサボサしている跳ねっ毛



ぜひ実物やイラストを参考に、色々な髪型を描いてみてくださいね。